

来のことを考えると、市としてきちんとした位置づけをして、安定的にこの一帯の自然を保全していくべきだと思うがどうか。

答弁（市民生活部長）

十一面山を市の管理下に置くことは、民有地であり困難である。他の地域の取り組みにも配慮が必要となるため、関係部局との調整を進めていく。

質問

市内の貴重な自然を守る上で十一面山は必要か必要でないか。

答弁（市民生活部長）

必要である。

質問

必要であるというのが何の進展もしていない。地権者も理解を示し協力もしていただいている。市長の考えは。

答弁（市長）

貸借、共同管理といったさまざまな方法を考えていきたい。

質問

やるのかやらないのかきちんとした答えを出してほしい。

答弁（市民生活部長）

他の団体、地域とのバランスを考慮し、具体的な施策等を考えていきたい。

質問

モデル地区をつくってやっていくという方法もある。これか

らは前向きにやると解釈して良いのか。

答弁（市民生活部長）

前向きに何らかの方策を考えていきたい。

〈その他の質問〉

○石下中学校の野球施設について



十一面山自然探検隊

土曜チャレンジスクールの開校について

（総括質問・一問一答）

中島 亨一 議員



質問

最近、子どもたちの学力低下が話題になることが多々ある。また、道徳教育の低下によるモ

ラルの低下も危惧するところである。子ども達の今後の将来性、可能性を大きく伸ばすために土曜チャレンジスクールというものを当市でも取り入れたらどうか。

土曜チャレンジスクールというのには、さいたま市が平成21年度に推進した事業で、子ども達の基礎学力の向上、学習習慣の定着を図ることを目的としている。私が今回言いたいのは、学力の向上だけではなく、最近目立つモラルの低下である。勉強や文化、スポーツ、社会活動を一般の社会人等が教えていく、そういう事業に市として取り組んでいったら良いのではないかと考え、質問する。

答弁（教育長）

当市においても、学習にまわらずにいる子どもが少なからずいるのが現状である。新たなアイデアのもとに子どもたちの学力向上をはじめとした、生活全般をケアしようという議員の提案に感謝する。

質問

チャレンジスクールの中で特にきちんとしつけをしていただきたい。本来家庭ですべきものだが、学校で一翼を担っていくという考えがあっても良いのではないか。

答弁（教育長）

議員の提案を参考に、前向きに考えていきたい。

答弁（市長）

基礎学力の問題、倫理教育ができるような機関等について、教育委員会と連携を取り、前向きに検討していきたい。

〈その他の質問〉

○行財政改革と職員定数削減に伴う、業務の効率化のための総合相談窓口の設置



三妻小学校屋内運動場漏水対応について（一問一答）

中村 博美 議員



質問

平成25年度当初予算に工事請負費が計上され、夏休みに工事をするとのことだったが、どうなったのか。緊急処理で一時しのぎでも漏水を止めてもらえたらと喜んでいたら、夏休みに工事がなく、学校開放で使用している保護者からも修理を強く要望

されている。一日も早い緊急修理、または大規模工事の実施をお願いする。

答弁(教育部長)

老朽化により、大規模改修が最適であろうと検討する期間が生じたことから、工事が遅れてしまった。現時点では、当面の雨漏り対策を優先し、12月から2月の改修工事を予定している。

質問

夏休みに改修が行われなかった時、学校側に説明したのか。

答弁(教育部長)

していないかった。

質問

忘れてしまったのか。

答弁(教育部長)

老朽化マスタープランでの大規模改修を考えている中で失念してしまった。

質問

マスタープランの中で大規模改修を予定しているということが良いのか。

答弁(教育部長)

他に老朽化している学校もあり、調査の上、優先順位、改修方法等検討し、進めていきたい。

質問

どの学校も緊急に必要だろうが、優先順位を上げるよう要望する。

〈その他の質問〉

○公園管理除草作業方法の取り決めに
○水海道シティハイツ集会室の清掃について



漏水が激しい三妻小学校屋内運動場

予約型乗合交通の利用状況と今後の運営のあり方を問う(二問一答)

倉持 守議員



質問

乗合交通の利用状況は。

答弁(企画部長)

未現在で、当初からの利用者累計延べ9万6000人、1日平均97・5人。目標の1日120人には届いていない。

質問

同じ人が継続利用しているように感じるが、どのような世帯が利用券を購入しているのか。

答弁(企画部長)

世帯の統計はとっていないが、昨年度の運賃収入は利用券1734冊分であった。

質問

利用しやすくするため、どのような改善策をとっているか。

答弁(企画部長)

周知を図るため、要望があれば、制度説明に伺う。平成23年度には1便増便している。

質問

市民からの声はあるか。

答弁(企画課長)

5時頃までの運行及び土曜日の運行を要望する声はある。

質問

時間延長、土日の運行で目標に達するのではないか。また、予算的配慮は。

答弁(企画課長)

協議会で協議していく。

答弁(市長)

充実させる方向で積極的に考えていきたい。

質問

常総市外への利用は。

答弁(企画課長)

市内に限定して運行している。

質問

他市に行きたいという要望もあると思うので、これからの協議事項としていただきたい。

〈その他の質問〉

○菅生沼黄金地区の課税額見直しについて
○庁用バスの利用状況について



予約型乗合交通ふれあい号

当初計画したにぎわい再生事業用地の活用方法と市政運営について(二問一答)

中村 安雄議員



質問

にぎわい再生事業は、中心市街地活性化のために拠点をつくり、人が集まれば良いのではないかと考えています。

いかという思いで議会として承